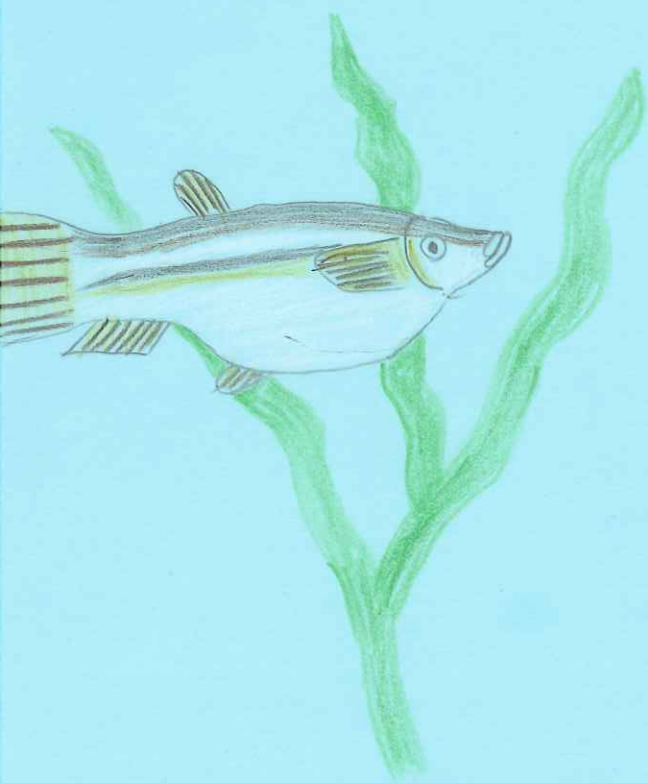


メダカのカの
観察日記

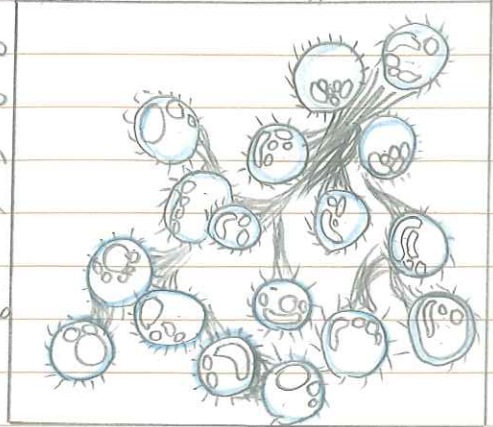


山本 康太郎

7月21日(木) 1日目

けんぴ鏡で見つ卵

富川校長先生から卵を17個いただいた。まだ、何もなく、泡じかない状態だった。附着糸という糸が卵1つ1つに付いていて、全部の卵がくっついていて、これなら、水が流れていても水草についていられるなと思った。肉眼では1mm程度の、とても小さい卵だった。



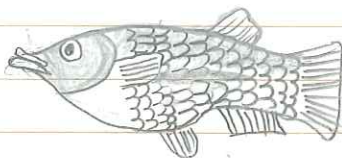
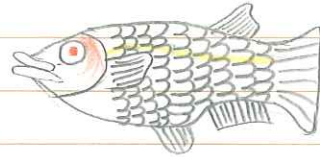
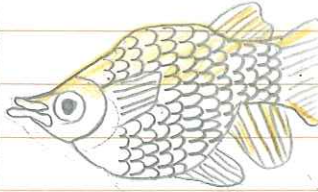
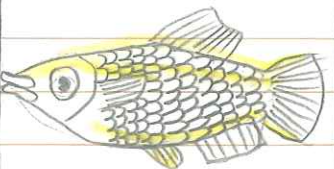
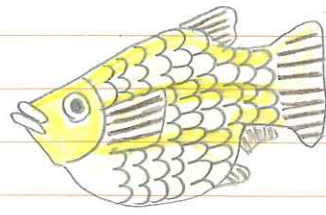
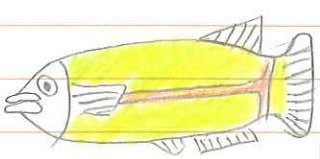
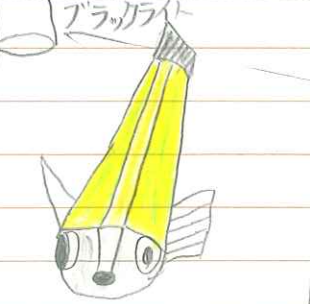
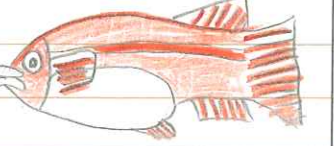
7月24日(日) 4日目

あまり変化は無い。しかし卵中ではおらメダカの形になってきた。3匹はメダカの形になってきているが、1匹は何も変わっていない。発育に差が出来始めてきた。

7月26日(火) 6日目

もらったメダカはメダカの形になってきていて、目が分かるようになった。このメダカは酒匂川水系の小田原メダカだと言っていたので他にも、どんなメダカの種類があるか調べてみた。ちなみに、小田原メダカは遺伝子的な攪乱を受けていない野性のメダカで絶滅危惧種になっていた。

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>クロメダカ(原種)</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンメダカとも言われている ・日本に昔からいる。 ・北海道以外の日本各地の小川・池に住んでいる。 ・絶滅危惧種。 | | <p>ヒメダカ</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒色素胞がない。 ・飼育しやすく、丈夫で、初心者向き。 | <p>シロメダカ(白メダカ)</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒色素胞と黄色色素胞がなく白色。 ・飼育しやすく、丈夫で、初心者向き。 |
| | | | |

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>アオメダカ(青メダカ) 特徴 ・黄色色素胞がない。 ・飼育しやすく、丈夫で、初心者向き。</p> | <p>アルビノメダカ 特徴 ・生まれつき、色素細胞がない。 ・眼が赤い。 ・飼育はやや難しい。</p> | <p>ダルマメダカ 特徴 ・別名「縮みメダカ」 ・尾が短く、丸みを尾びっている。 ・長生きしにくく、飼育はやや難しい。</p> | <p>ヒカリメダカ 特徴 ・背ビレと尻ビレの形が同じで「尾ビレ」がハ形をしている。 ・背中が輝く。 ・飼育は比較的簡単。</p> |
|  |  |  |  |
| <p>ヒカリダルマメダカ 特徴 ・ダルマメダカとヒカリメダカの特徴を同時に持っている。</p> | <p>蛍光メダカ 特徴 ・発光の仕組みは、発光クラゲのGFP(緑色蛍光を発光するタンパク質)遺伝子を組み込んだため、このメダカは遺伝子組み換え動物。遺伝子組み換えしたメダカの全身にブラックライトを当てると光る。</p> | <p>宇宙メダカ 特徴 ・無重力でも普通に泳ぐ。 ・無重力に強いという性質は親から子へ子系へと確実に遺伝していく。</p> | |
|  |  |  |  |

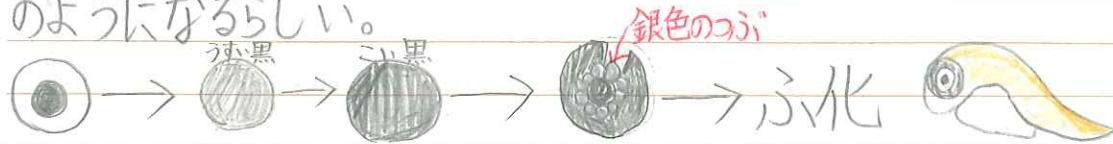
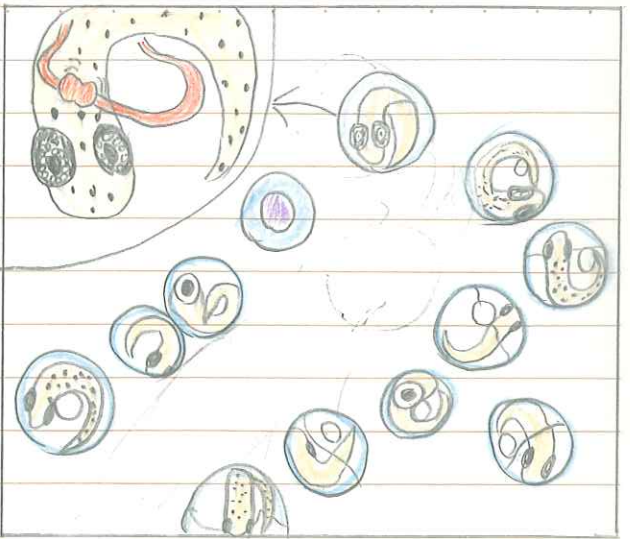
等

蛍光メダカと宇宙メダカは、種類というより、あることができる、ある特別なことに強いということだと思った。又、原種としているのは、数種で、品種改良されているのが圧倒的に多いということが分かった。そして、メダカを知るのに、良い機会だったと思った。

7月28日(木) 8日目

心臓が分かって、血液の流れも分かってきた。1つ、無精卵

のを除けば、全部育っている。一番育っているのを見ると、赤血球のつぶが動いているのが分かり、心臓が動いているのが見えた。又、からだのまわりに黒いつぶが付いていた。あと、どれくらいでふ化するか聞いたら、眼の色で分かると言っていた。それを聞くと、なるほどと思った。眼は銀色のつぶが入っているものが、これも発育が進んでいた。先生の話によると、下の図のようになりらしい。



7月29日(金) 9日目

メダカの心拍数

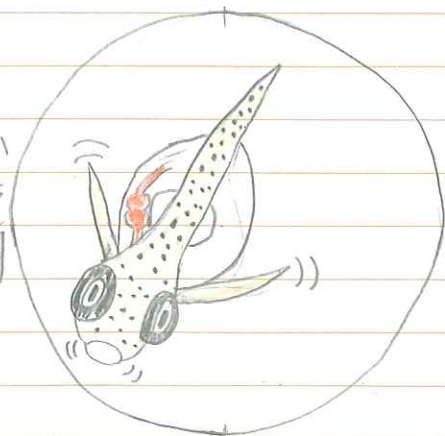
昨日より、眼に銀色のつぶが入っているメダカの卵が多くなった。メダカも、卵の中で元気に動いている。心臓の動きがより活発になっているメダカもいた。そこでメダカの脈拍数をはかった。ぼくの心拍数は1分間84回だったから、すごく速いと思った。そして、こまめに血液が流されているから、びんかんに動けるんか"など思った。

| | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 平均 |
|-----|------|------|------|-------|
| 30秒 | 116回 | 113回 | 117回 | |
| 1分 | 232回 | 226回 | 234回 | 約231回 |

8月1日(月) 12日目 **祝日**

ついに、1匹目が生まれた!

体長は、3mmぐらいで、口をいつも動かしている。胸と尾のほとんど動かして、しっぽが速く動くところかに行ってしまった。このように、明日も生まれていたらいいなあ。

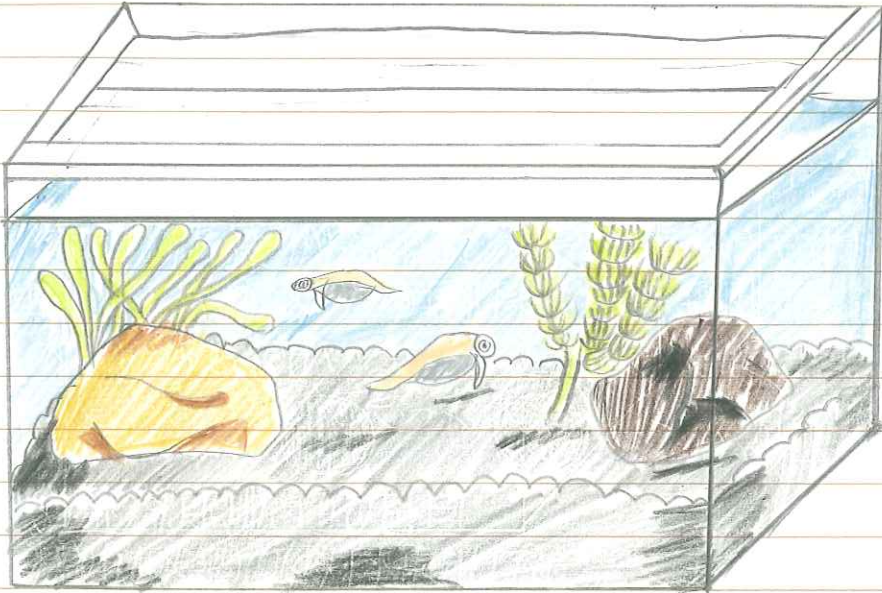


8月2日(火) 13日目

卵9個(個無精卵)と8匹。昨日から来て続けに生まれた。どれも元気に泳いでいる。しかし、卵を抜こうと思って、そのまま死んでしまったのと、生まれたけれど力尽きて死んでしまった二匹がいる。メダカの世界は、生まれるのも難しい、厳しい世界なんかなと痛感した。そして、とても悲しかった。

8月6日(土) 17日目

卵2個、12匹。(無精卵死では未ダカを除く。)もうそろそろ、水槽に入れ替え方が良いと思ふので、飼い方を調べた。

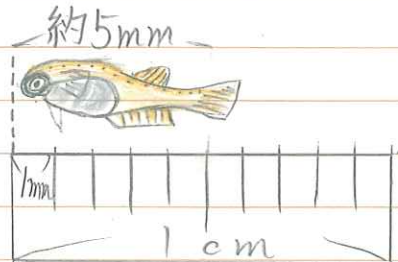


- ①水をくみ、1日くらい日にあたる。
- ②あらった石をおく。
- ③あらったじゃりを入れて、水を少し入れる。
- ④水草を入れる。
- ⑤水を入れる。
- ⑥メダカを入れる。

こうして、メダカを水槽に入れた。

8月13日(土) 24日目

旅行をはさんで、見るのが遅れてしまった。(その間、お兄ちゃんにほんの少しづつエサを入れてと頼んでいた。)すると、見ない間に、とても成長していた。3mmから5mmぐらいになっていた。そして、腹の部分が透明から、銀色っぽくなっていた。9月には1cmを超えていたらしいと思う。



8月16日(火) 27日目

ち魚は、あまり変化なく、元気に泳いでいる。最近、エサの残りが浮いているので、メダカもすくわないように注意して、すった。すると、見ているうちに、背ビレや尾ビレ、尻ビレがあるのが分かった。まだオスかメスが分からないが、見えてうれしかった。そして、上の絵を直した。

8月18日(木) 29日目

ち魚は6mmになった。こんな短期間で成長していくとうれしくなった。

